

総括質疑

ンやパソコンなどから各種申請、届出ができ、市役所に行かなくても済むような社会を目指したい。

■雇用創出対策事業について

質疑 地域雇用の拡大と地域発展に向けてどのように支援していくのか伺う。

答弁 支援が必要な企業へ直接的にアプローチしタイムリーな施策を展開し支援の強化に努めていく。



〔政和会〕
石川 隆一 委員

■ふるさと納税推進事業について

質疑 寄付増加策に関する具体的な取組について伺う。

答弁 寄附増加策として返礼品の全面的な見直しを予定しており、特産品同士を組み合わせたセット商品や人気のある返礼品の定期

便、寄附者ニーズの高い商品の新たな視点を加えた返礼品の開発を進めていきたい。

■空家等対策事業について

質疑 倒壊の危険がある空き家について、相続人の所在が不明な場合に行政の対応を伺う。

答弁 放置することにより危険が差し迫り、人命や財産に被害を及ぼし市民生活に支障を来すおそれがある場合は、降雪による被害や事故があった場合と同様に災害対策基本法の規定に基づき、地方公共団体と関係機関の連携により、被害の拡大を未然に防止することになっている。

■文化財資料収蔵庫管理費について

質疑 新たな資料収蔵庫の整備について、適切な保存環境の確保と維持管理について伺う。

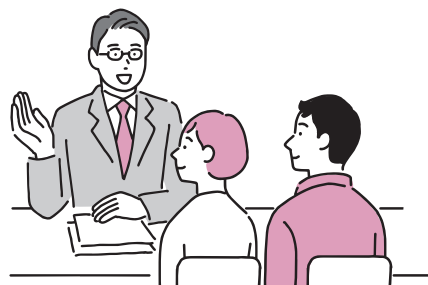
答弁 旧三梨小学校を新たな文化財資料の収蔵庫として、適切な保存環境を確保することで床面の部分的な張替え、大型除湿機の設置や遮光カーテンの設置、火災報知設備等の工事を計画している。維

持管理は、資料の適切な配置や通気による温湿度管理、館内の清掃等を日常的に実施し、文化財資料の適正な保存に努めたい。

■ビジネス支援センター事業について

質疑 事業効果を検証し3年間の継続を決定したが、今後専門アドバイザーを増員する考えはあるか伺う。

答弁 今年度、湯沢Bizの事業評価でも検証されたとおり、相談ニーズにきめ細かに対応するため、専門アドバイザーの増員は必要であると考えている。令和5年度はデザインなど相談ニーズの高い分野について、スポット的に専門人材によるアドバイスを実施したいと考えている。



〔湯沢政策研究会〕
藤田 健志 委員



■観光物産団体強化事業について

質疑 湯沢雄勝版観光地域づくり法人(DMO)設立に向けた現在の進捗状況を伺う。

答弁 将来ビジョンの決定や参画団体の役割の明確化など、様々な課題については継続した協議を行っている。今後も課題等の解決の検討を進め、早期の設立に向け関係者と連携して取り組んでいく。

質疑 令和5年度の当初予算に設立後の運営費を計上していないようだが、理由について伺う。

答弁 郡市内3自治体及び観光事業者、そのほか様々な事業者の理解と参画が前提であり、まだ調整されていないことから、今回は設立以降の予算計上は見送らせていただいた。